

切込湖と刈込湖

切込湖と刈込湖は、奥日光の北部にある小さな2つの湖です。この2つの湖は狭い水路でつながっており、ひょうたんのような形をしています。はるか昔に三岳から流れた溶岩流によって形成されたと考えられています。その名前は、奥日光を開山した勝道上人(735-817)に関わる伝説に由来しています。伝説によると、勝道上人は悪いへびを狩り殺したと言われています。日本語で「Kiri」は切る、「Kari」は狩るの意味を持ち、「Komi」には込める(沈める)という意味があります。亜高山帯の森に囲まれ、手つかずの風景がある秘境として知られています。これらの湖は、奥日光湯元温泉と光徳温泉の間にある、針葉樹林を通り過ぎていくハイキングコースを辿ってアクセスすることができます。